

催吐リスク Moderate

腸 (BEV7.5+CPT200)d1+cape/d1-14/c21d

薬剤名	投与経路	投与量	希釈液	点滴時間 (分)	投与日(day)
ブチルスコポラミン	注射	20	mg		1
パロノセトロン	注射	0.75	mg		1
デキサメタゾン	注射	6.6	mg 生食	50 mL	15 1
アバスチン	7.5	mg/kg	生食	100 mL	1
イリノテカン	200	mg/m ²	生食	250 mL	90 1
				mL	
				mL	
				mL	

内服薬

デキサメタゾン 8mg 分2 朝昼食後 day2,3

カペシタビン

投与基準等

Ⅱ. 投与基準 (例:白血球 $\geq 2000/\text{mm}^3$ 、好中球 $\geq 1000/\text{mm}^3$)

好中球数 $\geq 1,500$ 、血小板数 $\geq 75,000$ 、下痢・口内炎 $\leq \text{Grade}1$

Ⅲ. 減量基準 (例: Grade3 以上の好中球減少時、次回より投与量を80%に減量)

[ゼローダ・アバステン]

・非血液毒性(アバステン関連毒性を除く)

投与基準	発現グレード	発現回数	ゼローダ	アバステン
Grade2 以上で全て休薬 Grade1に軽快後、右の 基準に従って再開	Grade 2	1	変更なし	変更なし
		2	減量段階 1	
		3	減量段階 2	
	Grade 3	1	減量段階 1	変更なし
		2	減量段階 2	
	Grade 4	1	中止 or 減量段階 2	中止 or 変更なし

・血液毒性: Grade2 については投与量変更なし、Grade3 以上は【非血液毒性】の基準に準ずる

ゼローダ減量時の投与量(1回用量)

体表面積	減量段階 1	減量段階 2
~ < 1.41 m ²	900mg(3錠)	600mg(2錠)
1.41 m ² ≤ ~ < 1.51 m ²	1200mg(4錠)	
1.51 m ² ≤ ~ < 1.81 m ²		1500mg(5錠)
1.81 m ² ≤ ~ < 2.11 m ²	1200mg(4錠)	
2.11 m ² ≤ ~		

[塩酸イリノテカン(イリノテカン塩酸塩点滴静注液「タイホウ」)]

好中球数 < 500、血小板 < 50,000、Grade3 以上の消化器系有害事象発現時、次回より投与量を80%に減量

Ⅳ. 重大な副作用 (例: 好中球減少 Grade3 以上 37.5%)

海外第二相試験(FNCLCC ACCORD 13/0503 試験) Grade3 以上

好中球減少	18%	手足症候群	6%
倦怠感	14%	悪心	3%
下痢	12%	嘔吐	7%

添付参考資料(文献・ガイドライン・治験計画書・研究計画書)

Lancet Oncol, 2018; 19: 660-71 AXEPT 試験

